

# 第5回HV杯練習会 & 芋煮会レポート

Aoki

日時:2010年11月3日(水・祝)

場所:鶴見川河川敷

天候:快晴

気温:18度

練習会参加メンバー:永田、森岡、金田、石原、榑沢、関口

練習会総括:杉本

記録・集計:青木

応援:石原さんのご家族

練習内容:第一ラン4km、バイク36km(18kmを2往復)、第二ラン4km

2010年秋。今年も恒例のハートビュー杯練習会が開催された。今回で5回目を数え、過去に数々の名シーン・名選手を輩出した、歴史ある練習会である。

9時半の集合時間に合わせ、会場に一番乗りだったのは、金田さん。早々とストレッチで身体をほぐしていた。自走で会場に駆けつけて来る選手が殆んどの中、地の利を活かして2連覇を狙う金田さん、さてその結果やいかに！？ つづいて永田さん、関口さん、石原さんが会場入り。

石原さんのご家族で今回参加され、モチベーションは例年に比べて高そうだ。

そして最後に登場は榑沢さん。いつも通りのマイペースだが今回は、落ち着いた表情の中にも、燃える闘志が伺える。佐渡アストロマン、ハセツネと、ここ最近では好成績を残しているからだろうか。例年に比べ、自身が溢れているようであった。

今回、選手として参加しなかった杉本さんは車で到着。トランクには沢山の仕込み済みお鍋に食材、練習会の景品など、必要なものを全て持ってきて頂いた。本当にありがとうございます。

さあ準備万端となった第5回HV杯練習会、その結末はいかに！？



## ＜試走で距離の短縮が決定＞

本番の前に、バイクでコースの試走を行う。例年であれば20km×2周回のコースだが、試走で工事中の場所があることが判明した。

よって例年より約2km短い18kmを2周回でバイクを行うことが決定した。

さてメンバーが試走中の時のことだ。

石原さんご家族と待機していた私に、一人の男性が話しかけてきた。歳の頃は70代位であろうか。ゴルフのドライバーを持っているところを見ると、スイングの練習帰りらしい。杉本さんが用意してくれたミニテーブルに並んだストップウォッチや集計用紙を見て、『今日は何かの練習ですか？』と話しかけてくれた。



私が『はい、今日はチームの練習会です』と答えると、どんなチームなのか？普段はどんな練習をしているのか？とか、トライアスロンはどんな大会に参加しているのか？など、を質問され私が答える度に、関心されていた。

するとこの男性がこんな話をされてきた…『トライアスロンの”トライ”=”3つの”という意味なんだよね』と。ふつう、初心者の方だと『トライ=挑戦する？』などと思われる方が殆んどの中、この男性はトライアスロンという競技名の由来をきちんと知っていたので、ビックリした。

どうもトライアスロンに詳しいらしい。さらに、この男性は色々な話をしてくれた…『昔、デブスコットと写真を撮った事があるんだよ。』

私が『本当ですか！凄いですね～！』と驚く。

『昔、私は自転車メーカーで働いていて、デブスコットは日本のレースに出場する時は、よく私が働いていた会社の自転車に乗ってくれたものだよ』と話してくれたのであった。

かなり話がそれてしまったが、試走の時に、そんなちよつとして出会いがあったことを報告しておきたい。

そして試走を終えたメンバーが戻ってきて、一息ついたところで、今年もついにスタートするのである！

### <和やかなスタートとは一転…白熱したレース内容に>

この日、11月3日(水・祝)は爽やかな秋晴れに恵まれ、コンディションは最高の日であった。河川敷では、サイクリングにジョギング、散策と、まさに平和な日本を象徴する光景が広がっている。

そんな中、真っ赤なHVウェアをまとった一団は、和やかな様子で走り出したのであった。



4kmの第一ランから選手達が戻ってくる間は、石原さんご家族も愉しそうに川べりで遊んだりされている。私も、爽やかな風と太陽の日差しを受け、選手として参加は出来なかったが、気持ちのいい時間を過ごすことに幸せを感じていた。

そんな時である。

何かを感じた…熱気のような、気合のような、いやこれは闘魂のようである！ハツとして、河川敷の向こうに目をやると、赤いHVウェアをまとった3人の姿が眼に飛び込んできた。しかも平和な河川敷には不釣合いな、異常に早いペース。先行する一般ランナー、のんびりサイクリングの人たちを、たちまち追い抜いているではないか。

当初、和やかに戻ってくることを予想していた私は、デジカメ片手に戻る選手を撮影しようと考えていたのだが…正確に記録集計できるよう、左手にストップウォッチ、右手にボールペンをしっかり握り替え、選手が戻ってくるのを待った。石原さんと榊沢さんがほぼ同時に第一ランを終え、バイクトランジットへ。その後、約10秒遅れて金田さんが戻ってきた。

後から聴いた話であるが、スタートして間もなく、金田さんが集団から飛び出したのであるが、それを石原さん、榊沢さんが追いかけて、途中で金田さんを振り切ったそうである。

さて、オリンピックディスタンスレベルの速さでトランジットした榊沢さんが先行する形になった。そして石原さんがバイクへ。トランジットで20秒以上の差をつけた榊沢さんが一歩リードした形だ。

その後、森岡さん、関口さん、永田さんの順番で戻ってくる。みんな爽やかな汗を額に浮かべ、笑顔で戻ってきた。関口さんは石原さんのご家族にハイタッチする余裕も。

こうして、サポート側として見て分かったことだが、一生懸命な選手を見るのはとっても刺激になる。やっぱり頑張っている人を見ると元気が出てくるものである。

さあバイクではどんな展開が待っているのだろうか！

### <ジワジワと抜け出す榊沢さん>

バイク2周回を終え、2位の石原さんに2分以上の差をつけた榊沢さんは、油断する表情も見せず最終ランへ突入した。石原さんは、足を攣ったのであろうか？少し足を引きづっているようだ。練習不足もあったようであるが、途中まで榊沢さんと競い合ったのは大変立派であると思う。金田さんは、得意のランで上位2人に少しでも近づきたいところだ。

永田さん、森岡さん、関口さんは、自分のペースを崩さず練習会を愉しんでいる。永田さんは先日のマラソン大会の疲れも多少は残っていたと思うが、最後のランもマイペースで走りきっていた。

### <最後にゴールに戻ってきたのは…>

そして榊沢さんが最初に戻ってきた。2位に2分以上の差をつけての堂々の一位である。『井出さんがいなかったの、何とか一位になりました。』と言っていたが、来年は是非とも、井出さん初め、万全のコンディションで全メンバーが参加できれば、さらに盛り上がるに違いないと思うのでした。

しかし『その時は、鶴見川河川敷を貸切にしないと駄目かも…』と思うのは私だけではないはずである。

### <最後は全員笑顔でフィニッシュ！>

最後に、参加メンバー全員の最高のフィニッシュシーンを。



第5回ハートビュー杯争奪練習会成績										
距離	第一ラン4km		バイク18.8km(1周目)		バイク18.8km(2周目)		第二ラン4km		合計タイム	順位
	ランタイム	区間順位	バイクタイム	区間順位	バイクタイム	区間順位	ランタイム	区間順位		
kurumisawa	17:09	1	17:58	1	17:33	1	18:32	2	1:11:12	1
isihara	17:09	1	18:44	2	18:32	2	19:21	3	1:13:46	2
kaneda	17:20	3	20:20	3	18:44	3	18:01	1	1:14:15	3
morioka	19:33	4	22:00	4	20:17	4	21:00	4	1:22:50	4
nagata	22:35	6	22:55	6	21:27	6	26:32	5	1:33:29	5
sekiguti	20:46	5	24:03	5	22:07	5	30:59	6	1:37:55	6
sugimoto										DNF
aoki										DNF

もちろん、怪我や事故もなく、安全に終わることができました！！

### < ♪は後藤さん、直伝の美味しいコンニャクで舌鼓♪ >

さてレース後は、表彰式が行われ、杉本さんがご用意してくれた景品が一位から三位の選手に手渡された。嬉しい景品にメンバー全員大盛り上がり！

そして、この日も一つのお楽しみ！後藤さん直伝のこんにやく料理&杉本ファームのオーガニック芋煮会♪♪  
好転に恵まれたこの日、鶴見川河川敷では至る所でバーベキューを満喫する人たちが。  
しかし、ハートビューのメンバーが食べたこんにやく&芋煮&ビールが一番旨かったのは間違いない。  
なぜなら『本気モードの練習会』という最高のスパイスを効かせて食べたのだから。



それにしても後藤さん直伝の玉こんにやくとスルメのお鍋は絶品！！  
練習会に参加できなかった私であるが、このこんにやくの味を満喫できただけでも、参加した意義があったと確信している。  
日本酒も美味しすぎて、あっという間に無くなってしまいました。

今年もHV杯は沢山の方々に支えられて、無事終えることができました。ありがとうございました！

来年は、今年参加できなかった店長、中辻さんをはじめ、多くのメンバーに参加して頂き、HV杯はもちろん、チーム・ハートビューが更に盛り上がる事を願わずにはいられないのである。